

3月22日 TRS#6 小田原の開催について

2020年3月10日
日本学生自転車競技連盟

新型コロナウイルスの感染懸念から多数のイベントが延期・中止となっていますが、本大会は予定通りの期日で開催する方向で引き続き準備中です。

1、状況判断

- ・内閣総理大臣から2月26日に2週間のイベント自粛要請が発せられたが、3/22は2週間以上経過後となる。
- ・開催地の神奈川県は3月15日までを集中的な対策期間として県主催イベントの中止・延期を行っており、また開催地ではないが東京都がスポーツ団体等に開催延期・中止等の検討を要請している期間も3月15日迄となっており、3月22日はそれ以降の日程となる。
- ・小田原市は施設使用制限を3月15日までとしており、22日はその後であるため特段の制限は現時点ではされていない。
- ・2020年3月9日発表、新型コロナウイルス感染症対策専門家会議「新型コロナウイルス感染症対策の見解」において、「本日時点での日本の状況は、爆発的な感染拡大には進んでおらず、一定程度、持ちこたえているのではないかと考えます。」とされていること。
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000606000.pdf>
- ・2020年度は4月初旬にTRSの予定が無いため、5月9・10日に予定されている東日本学生選手権トラックへの参加基準を達成する機会が他にない為、本大会は開催必要性の高い大会である。
- ・今回のTRSは比較的感染リスクが低いとされる屋外で行うものである。
- ・参加者・関係者併せて70人程度と予想される。自粛要請が想定する大規模イベントではなく、たとえば規模を縮小して実施された東京マラソン（選手約200名・運営要員数千人）よりも小規模なイベントであり、また不特定多数の観客を集客するものでもない。

2、開催に当たって以下の対策とします。

- ・参加するか否かの判断は参加者に任せ、欠場に対して正当事由が無い場合でもペナルティを課さない（ただし参加料は返金しない）。
- ・体調が優れない選手（例：平熱よりも高い体温、咳・くしゃみ・鼻水がある等）は自主的に欠場、体調が優れないもしくは高齢・持病のあるチームスタッフについても来場を控えるよう要請する。
- ・チームピットはお互いに距離をとるよう要請する。
- ・会場に石鹼・消毒薬を用意し、参加関係者に手洗いを喚起する。
- ・マスク着用等を勧める。
- ・競技役員は、可能なポジションでの手袋着用等、細心の注意を払う。
- ・使用済みのゼッケンの回収は行わない。
- ・観客の動員は行わない。

3、直前における開催判断

- ・上述のように開催する方向で準備を進めますが、状況に大きな変化が生じた場合、大会直前であっても中止・延期とする可能性もあります。
- その場合、本連盟ウェブサイトにて発表します。 以上